

食品機能評価としての ヒト摂取試験の現状、課題と今後の展開

日時 : 平成30年(2018)2月28日(水) 13時～

会場 : アキバプラザ 7階 EXセミナールーム <千代田区神田練堀町3>

参加費 : ￥16,200(税込) 食品ニューテクノロジー研究会 会員無料

【座長:】 雪印メグミルク株式会社 取締役常務執行役員 小西寛昭氏

特定保健用食品制度や食品機能表示制度において、食品に保健機能を表示するためにはヒトにおける摂取(介入)試験のポジティブな結果の提示が必須とされている。食品機能表示のための科学的エビデンスの取得を目的として様々なヒト試験が実施されている。

本セミナーでは、特定保健用食品制度や食品機能表示制度など我が国の食品機能に関する表示制度の概要、実態、課題を解説した上で、そもそも食品成分を関与成分として実施する摂取試験の科学的根拠の構築のあり方、食品であるが故の有利性や制限、限界、プロトコール設計について現状を俯瞰し、設計や実施の方向性に関する将来的な方向性について、科学者および実験者の視点から解説いただく。また、食品機能表示のための科学的エビデンスとして有効とされている研究レビュー(システムティック・レビュー、研究論文等から得られる科学的知見を体系的に整理したもの)について、実施の基本と考え方、課題などについて最新の知見を紹介する。

【講演Ⅰ】 13:10～14:10

我が国の食品機能性表示の制度

東京工科大学医療保健学部 学部長 教授 梅田 勝氏

<http://www.teu.ac.jp/info/lab/teacher/hs/index.html?id=103>

【講演Ⅱ】 14:15～15:15

食品を対象にしたヒト摂取(介入)試験

北海道情報大学 副学長

医療情報学部 医療情報学科 教授 西平 順氏

<http://www.do-johodai.ac.jp/professor/009/>

【講演Ⅲ】 15:20～16:20

食品機能表示のための科学的エビデンス

東京農業大学 大学院 環境共生学専攻 教授 上岡洋晴氏

<http://dbs.nodai.ac.jp/view?l=ja&u=168>

【座長まとめ】 16:10～16:30

お問い合わせ先:

日本食糧新聞社 (食品ニューテクノロジー研究会) 中山清美
〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第一南桜ビル7階
TEL03-3432-4664 FAX03-3459-4654 携帯090-3146-7995

食品機能評価としての ヒト摂取試験の現状、課題と今後の展開

食品ニューテクノロジー研究会

2月28日申込書

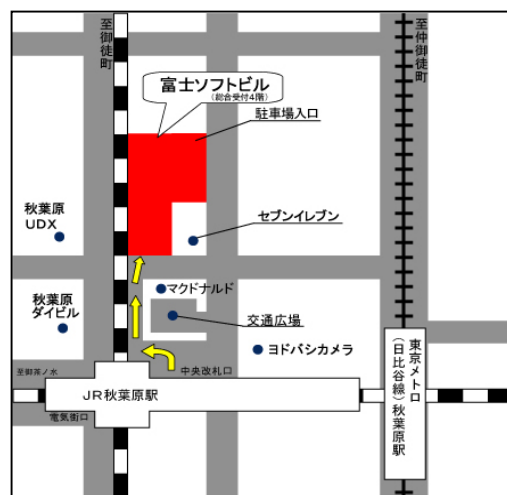
FAXで03-3459-4654までお申し込み下さい。

- ◇ お申込み後、請求書をお送りいたします。
- ◇ 受講票は発行しておりません。
- ◇ 当日は名刺をお持ちください。

会社名		
住所	〒	
電話		
FAX		
お名前	部署／お役職	

会場案内

富士ソフト アキバプラザ



〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3

富士ソフト秋葉原ビル 7階 EXルーム

TEL: 03-5209-6285

※ ファリミーマート前のエレベーターで7階にお上がりください。

◎ セミナー情報 <http://bit.ly/Ke3If3>

◎ セミナー申込 <http://bit.ly/1cSZRck>

提供いただきました個人情報、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。

4月 未定 13:30~

『これからの味覚研究—より深く、より広く』

座長: 東京農業大学総合研究所 客員教授 荒井綜一氏

講師: 明治大学 大学院 農芸化学専攻 准教授 石丸喜朗氏

自然科学研究機構 生理学研究所 准教授 中島健一朗氏

次回